

## 7 小児科

### 基本研修（1ヵ月）

#### （1）一般目標

- ①小児科は子供の総合内科であることを理解する。
- ②小児を診療するにあたって必要とされる基礎的知識（検査、診断）と基本的な診療技術及び態度を習得する。
- ③小児の特性、小児疾患の特性を習得する。

#### （2）行動目標と実践（OJT）

##### 1）診断力の習得

- ①児を持つ家族との適切なコミュニケーションやニーズの把握ができ、家族の気持ちが理解できる。
- ②バイタルサインの把握はできる。
- ③家族から適切に病歴を聴取し、記述できる。
- ④子どもへの声掛けができるなど適切に接することができる。
- ⑤小児の理学的所見を正確にとり、カルテ記載できる。
- ⑥基本的な小児科領域の疾患の治療の流れを学ぶ。
- ⑦指導医または上級医の指導のもと、基本的な手技を学ぶ。
- ⑧専門医に適切に紹介できる。
- ⑨小児疾患の重症度の判断ができる。
- ⑩正しい成長・発達の見極めができる。
- ⑪入院サマリーや診療情報提供書が適切な表現で記載できる。

##### 2）治療の実践

- ①指導医または上級医の指導のもと、入院患者や時間外外来患者の診察・処置、新生児の診療・処置・検査を行う。
- ②指導医または上級医の指導のもと、乳児健診、予防接種の実技を行う。

### 選択研修（1ヵ月以上）

#### （1）一般目標

- ①小児科は子供の総合内科であることを理解する。
- ②小児を診療するにあたって必要とされる基礎的知識（検査、診断）と基本的な診療技術及び態度を習得する。
- ③小児の特性、小児疾患の特性を習得する。

#### （2）行動目標と実践（OJT）

##### 1）診断力の向上

- ①児を持つ家族との適切なコミュニケーションやニーズの把握ができ、家族の気持ちが理解できる。
- ②バイタルサインの把握はできる。
- ③家族から適切に病歴を聴取し、記述できる。
- ④子どもへの声掛けができるなど適切に接することができる。
- ⑤小児の理学的所見を正確にとり、カルテ記載できる。
- ⑥基本的な小児科領域の疾患の治療の流れを学ぶ。
- ⑦指導医または上級医の指導のもと、基本的な手技を学ぶ。
- ⑧専門医に適切に紹介できる。

- ⑨小児疾患の重症度の判断ができる。
- ⑩正しい成長・発達の見極めができる。
- ⑪入院サマリーや診療情報提供書が適切な表現で記載できる。
- ⑫頻度の高い疾患を指導医または上級医の指導のもと診断し、対処できる。
- ⑬発達障害をもつ子どもの問診がとれる。（本人、家族、学校の先生）

2) 治療の実践

- ①指導医または上級医の指導のもと、入院患者の管理、時間的外来患者の診察、新生児の管理を行う。
- ②指導医または上級医の指導のもと、乳児健診、予防接種の実技を行う。

**【標準的週間スケジュール】**

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修	病棟研修
午後	1か月健診	乳児健診	外来研修	予防接種	外来研修

毎日始業前と勤務終了後の1日2回行うカンファレンスに参加  
 毎月2回の輪番当直に参加  
 病棟研修の回診・処置が終われば外来研修へ